

# KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

## YMCA March 2015 vol.514

# 3



「エイエイオー！」体育英語幼児園ペンギンクラス マラソン大会

- C O N T E N T S**
- ① 社会的養護が必要な子どもたちのために
  - ② 熊本バンド139周年記念早天祈祷会/タイ・スタディツアー/国際青少年育成年末募金感謝会
  - ③ チャリティプログラム Youth Act Vol.12 YMCA学院学生委員会メンバー 横山結さん
  - ②・③ REPORT YMCA学院児童福祉教育科卒業発表会/ボランティアデー/西日本地区YMCA職員研修/御船町校区対抗駅伝大会
  - ④ タラントNo.12 「YMCAの可能性～地の塩・世の光」 Topics むさしYMCA/阿蘇YMCA/リフレスおおむた
  - 中面 国際青少年育成年末募金報告

## 地域社会とのつながりを大切に

### 社会的養護が必要な子どもたちのために

2012年の子ども相対的貧困率(平均的な所得の半分を下回る世帯の18歳未満の子どもの割合)は16.3%(厚生労働省)。6人に1人が貧困状態にあります。

熊本YMCAは経済的な困難を抱える子どもたちのためにプログラム参加のための支援制度を設けたり、YMCAフィランソピー協会を通して児童養護施設の子どもたちと社会との交流の場をつくったりと、支援を続けています。今回は、児童養護施設で子どもたちを見つめてこられた藤崎台童園理事長の尾里一清さんに子どもたちの現状と、YMCAや地域に求められることについてお話を伺いました。



社会福祉法人藤崎台童園  
理事長  
尾里 一清さん

— 貧困をはじめ、子どもたちを取り巻く環境は年々困難を増しているようです。社会的養護を必要とする子どもたちには、どのような課題があるで

しょうか? その中で、児童養護施設が担っている役割について教えてください。

**尾里** 今、貧困の中にある子どもたちは学校に登校して勉強ができる状況になく、日々の食事をとることも困難なケースがあります。私たちは、子どもの相対的貧困率が16%という状況に対し、忸怩たる思いを抱えています。貧困以外にも、養育放棄、金銭感覚の麻痺、精神的な病、発達障がいなど、保護者側が大きな課題を抱えている場合があります。地域の民生委員から相談を受けて児童相談所が動きはじめても、保護者側から養護を拒否されるケースも多くあります。第三者から見れば子どもは成長にとって困難な状態だと認められても、保護者の承諾を得なければ、私たちは働くことができません。セーフティネットにかかる子どもはまた良い方です。厚生労働省の生活困窮者支援制度の熊本市の対象世帯は5900世帯といわれていますが、実際に「貧困の中にあるので助けてほしい」と相談があるのはその1割程度なのです。

児童養護施設は、そのような状態にある子どもたちが、保護された場合に受け入れられます。衣食住が保証され、学校に行くことができる。当たり前前の生活を送ることができるようになります。また、2〜3歳の大切な時期に、保護者に添い寝してもらったりなどの体験をしていない子どもたちに、職員が代わってやり直しを行っています。

— 施設での受け入れは18歳までです。子どもたちが独り立ちを目指す中で、どのような対応が必要だ

## わたしと聖句



ローマ人への手紙14章8節

ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のもので、私たちが主のもので。

### 途方にくれても

(1)なぜ、こんなことが?

誰でも、人生の中で途方に暮れる時があります。目標を目指して頑張ってきたのに、道が閉ざされた時。平和に生きていた家族に、突然の不幸が訪れる時。また、自分が正しいと思う道の

途中で、挫折を味わう時、「なぜ、こんなことが自分に起こるのか」と思いますが、

神学校の三年生の時、かねてからの体調の不調の原因が深刻なものであっても、私たちが主のもので、私たちが主のもので、立病院の待合室で診察の時を待つていました。「神は私を福音を伝える働きのために召され、神学校に入れられたのに、今道が閉ざされようとしているのは何故だろうか」と思いました。

このみことばは、私の神に従う人生をこれまで導いてくれた数あることばの中の一つです。

(2)イエス様がいてくださるから

その時かばんから聖書を取り出し

バイブル・プロテスタント帯山聖書教会

隈上 正敏

と考えられますか?

**尾里** まず、施設に入所してくる子どもたちの学力は、その学年の学力に達していないことが多く見受けられます。これまで、学習する機会が与えられていないのです。高校受験時になっても小学校レベルしか理解できてない場合もあります。子どもたちの学力を引き上げるためには、職員の頑張りだけでは難しく、個人指導の重要性を感じています。

また、児童養護施設などの退所後の居場所として、「自立援助ホーム」(何らかの理由で家庭にいないことのできない児童などに対し、社会的自立に向けて就職や日常生活の援助などを行う施設が考えられます。全国には92カ所(2013年3月)あり、県内では唯一私どもの法人で運営しておりましたが、残念ながら諸般の事情で2014年3月に閉鎖しました。児童養護施設も20歳まで措置延長が可能ですが、施設側の経営的に難しい場合もあります。ソーシャルワーカーなどの支援を受けることも必要ではないかと思えます。

— YMCAは、フィランソピー協会を通して県内の児童養護施設の子どもたちを企業人との交流ダイキャンブに招待しています。また、YMCAのプログラムに参加費減免制度



企業人との交流ダイキャンブ

を利用して参加している子どももいます。このような活動についてどのように考えられますか?

**尾里** 施設で実施する行事は、何らかの訓練や教育の要素を含みますが、YMCAのキャンブは純粋に楽しめるようで、子どもたちも喜んで参加しています。私たちができないことを行ってくれていると感謝しています。また、施設や学校以外の大人との出会いには、とても意味があります。

現在、参加費減免制度を利用して当施設からYMCAのプログラムに通っているのは数名ですが、子どもたちにとってYMCAは施設や学校とは違う、もう一つの居場所になるでしょう。各地域にYMCAがありますから、それぞれの近くにある児童養護施設に関わりを持ってセーフティネットの役割を担っていただけると大変ありがたいです。

— 子どもたちのために、地域社会はどのようなことができるでしょうか?

**尾里** 社会的養護を必要としている子どもが数多くいることを知らない方も多いと思います。当施設は、地域に開かれた施設を目指しています。清掃活動などの地域の行事に参加させてもらい、地域の方々から温かく見守っていただいています。そのことが子どもたちの安心感につながり、精神的な落ち着きをもたらす一助になっているようです。子どもたちのプライバシーを守りながらも、地域に向けて子どもたちの現状を伝え、広く理解を深めていただくことも大切だと考えています。

### 熊本バンドを偲び 早天祈祷会を開催



1月30日(金)、熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、花岡山でキリスト教を奉じ、この教えを日本全国に宣布しようと誓約した「熊本バンド」の青年たちの結盟139周年を記念して、早天祈祷会を開催しました。

早朝の花岡山に集まったのは、キリスト教系の学校、教会、団体、熊本YMCAなどから約200名。1876年、青年たちが誓いを立て署名した奉教趣意書の原文を熊本大学YMCA花陵会の西本徹さんが、同口語訳をルーテル学院高校の新美愛さんが朗読しました。そして、九州学院専任理事長の長岡立一郎さんが「祈りは呼吸」と題して奨励。「139年前に志を同じくする青年たちが花岡山に集まり、共に祈った神への祈りを通して、生きる勇氣、人の壁を越えていく力を与えられ、困難な時代を貫いていくエネルギーを得たのではないだろうかと考えます。熊本バンドの青年たちが残した志や勇氣を、祈りを通して受け継いでいきましょう」と話されました。

職員 古閑智恵

### 新たな価値観に出会う 若竹寮支援20周年記念タイ・スタディツアー

熊本YMCAはタイのチェンライYMCAと協力し20年にわたり北部タイに暮らす山岳少数民族の子どもたちの支援に取り組んでいます。子どもたちは日本の里親の支援などを受けて、「若竹寮」で共同生活を送りながら、街の学校に通っています。この若竹寮や山岳民族の村を訪ね、相互交流や異文化理解を深めることを目的に、2月12日(木)から16日(月)の3泊5日の日程でタイ・スタディツアーが実施されました。参加者は20代から70代の男女6名と職員の益田昌弘さん。

最初に降り立ったチェンマイ空港では、多くの出迎えがありました。今回参加した早川勲さんが里親としてサポートしていた卒業生のヌチャナットさんも、夫や子どもと共に迎え、11年ぶりの再会を果たしました。その後、ストリートチルドレンが暮らす地域を訪問。子どもたちの現状やチェンマイYMCAが行う支援について学びました。



山岳民族の村を訪問



アカ族の子どもたちが踊りで歓迎



若竹寮の子どもたちと共に

2日目はチェンライに移動し山岳少数民族の村や若竹寮を訪れました。夜はナイトバザールで若竹寮の子どもたちと食事をとり、交流の時間が持たれました。

3日目は、タイと隣接するラオスとミャンマーに入国。各国の人々が暮らす環境の違いを目の当たりにしました。日曜日には若竹寮近くの教会での礼拝に参列。礼拝後は、子どもたちから歌や踊りで歓迎を受け、参加者からは学用品などの記念品を手渡しました。

「タイの子どもたちの実状をまったく知らずに今まで生きてきたことを恥ずかしく思いました。これから少しずつでもYMCAの活動に関わっていかれたらと考えています」、中央YMCAのユースリーダーで大学2年生の高松愛佳さんは「タイの子どもたちのまっすぐな笑顔が印象的でした。小学校の先生を目指しているので、将来この経験を、子どもたちに伝えたいと思います」と感想を寄せました。

### 目標達成に感謝を 込めて

#### 2014年度国際協力青少年育成年末募金感謝会

2月13日(金)、2014年度国際協力青少年育成年末募金の感謝会が開催されました。

熊本YMCA総主事の岡成也さんは「皆の志が一つになった結果を祝いましょう」、フアンド・ディベロップメント委員会委員長の田中俊夫さんは「募金は子どもたちのために大切に使います」、熊本YMCA会長の菅正康さんは「さらに幅広い人々からの募金を目指しましょう」とあいさつ。目標達成の喜びに満ちた乾杯の後、募金活動に尽力された個人と企業に感謝状が贈呈されました。亀浦正行さん、馬場淑之さんは「来年は目標額のアップを」と会場を沸かせ、佐伯亮さんは、オリジナルタオルを販売したYMCA学院学生委員を代表し「金額はわずかですが、貢献できているうれしく思います」と話し、大きな拍手を受けました。



## REPORT

### 3年間の学びの成果を発表

YMCA学院児童福祉教育科3年間の集大成として、企画から運営まで全て学生の手でつくりあげる卒業発表会。今年は「輪」というテーマの下、1月20日(火)に阿蘇YMCA、23日(金)、25日(日)に熊本子ども文化会館で計3回の公演を行いました。

子どもたちに保育者として伝えたい想いを、劇やダンス、合唱に詰め込んだこの発表会。30名全員で舞台に立つことができたこの達成感は何物にも代えがたい思い出と自信になりました。



YMCA学院 西本愛

### 力を合わせて清掃活動

■日時/1月24日(土)9時半~11時  
■場所/花岡山

139周年記念熊本バンド早天祈祷会に向けて、花岡山山頂と周辺の清掃活動を行いました。教会関係者、YMCAの運営委員、ワイズメンズクラブに加えて、体操チームのメンバーや小さい子どもたちも大活躍。伸びすぎた枝の剪定、落ち葉拾い、滑りやすくなっていた階段やベンチの苔落としをしました。



# 国際協力 青少年育成 年末募金

2014.11  
～ 2015.1



## 15,509,960円

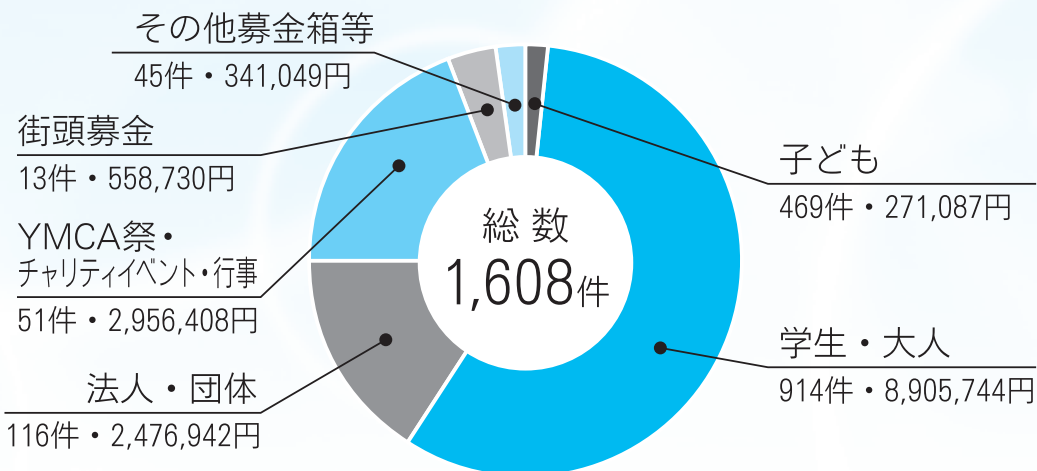
たくさんのご協力  
ありがとうございました。



YMCA祭



街頭募金



子どもたちから寄せられた  
メッセージやイラスト

友だちになりたいです



世界の子ども  
たちのために  
みんながほっと  
せしませたい。  
どうぞ頑張ってくだ  
さい

平和な世界になりま  
すように頑張ろう  
Be Happy!! 😊



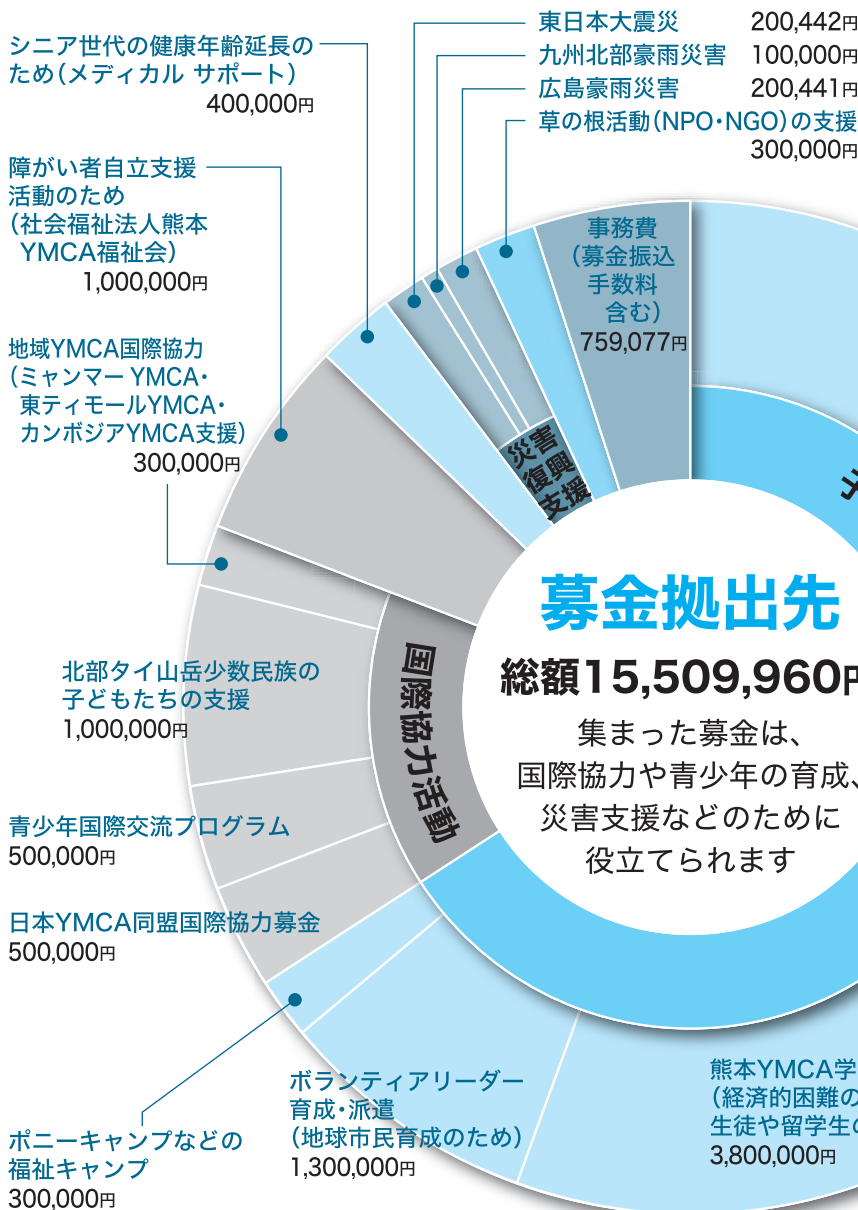
東ティモールYMCAにサッカー指導者を派遣



盲学校の生徒たちが楽しんだポニーキャンプ



国際青少年平和セミナーにユースを派遣



### 募金拠出先

総額15,509,960円

集まった募金は、  
国際協力や青少年の育成、  
災害支援などのために  
役立てられます

写真はイメージで、実際の支援活動とは一致しないものもあります。

寄付者御芳名

2015年(現在) 10月10日 50音順

個人

ArIene Joy Delta Paz 相原直優 相原和愛 青木武雄 青木飛燕 青木諒真 青山貴紀 青山照子 青山美紀 白石照久 赤星敦 秋月航太...

甲斐友晴 鏡瑞夫 柏尾誠之 柏崎石子 柏崎勇文 柏原佳吉 柏原千恵 柏原敏恵 柏原芳野...

白木優子 城田一誠 城塚星那 進藤斗 進優斗 新谷佳奈 進藤碧人 新藤清香 新藤優佳...

西野直美 西村美香 西本愛 西本優 西森心彩 西守よつ子 沼田茂美 農崎峻介 野上琉...

森成就 森誠 森博之 森律子 森川愛子 森川慎子 森重拓海 守田愛沙 森田靖也 守...

スト(株) (株)コズギ不動産 北海道ときとき (株)再春館安心安全研究所 (有)サンエス保険...

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

岩下裕一 岩代康子 岩田宝子 岩田陽翔 岩立勝也 岩中秋子 岩永研一 岩永福子 岩永...

郷秀文 神澤心都 神澤時士 合志明展 合志和展 合志佳菜子 合志啓恵 合志祐紀子 神...

東家知子 遠山美波 時尾大地 時任幸四郎 時本紀子 得居博臣 徳田穠 徳永祥太 徳丸...

堀部真紀 黄大衛 本田英治 本多くみ子 本田静香 本多士瞳 本田祥大朗 本田節子 本...

企業・団体 (医)愛育会福田病院 I Love Boo 熊本店 青山ダンススクール (株)赤星文比古建築...

その他 YMC A祭(中央YMC A前進祭) みなみYMC Aサザンフェスタ 上通YMC Aセンター 東部祭...

# 皆で楽しみながら チャリティ

国際協力青少年育成年末募金の一環として、今年も各YMCAでチャリティプログラムが開催されました。また、YMCA学院ではオリジナルタオルの制作・販売の取組みも行われました。



## 中央YMCA

1月18日(日)10:00~12:00

ノルディックウォーキングを実施しました。最初は戸惑い気味だった参加者たちもコツをつかみはじめると歩くスピードが少しずつアップ。参加者同士が会話を楽しみながら、幅広い年齢層が交流しました。



## みなみYMCA

1月18日(日)10:00~15:30

チャリティフェスタを開催しました。運動教室に、お楽しみコーナー、フェイスペインティングなど、プログラム満載。お昼には、だご汁やマンマー料理を食べて、YMCAでの1日を楽しみました。



## ながみねファミリー YMCA

1月17日(土)~23日(金)

チャリティウィークとして、ガレージセール、ストラックアウトゲーム、くじびき、ポップコーン販売、そしてライン工房によるパンやお菓子の販売を行いました。連日にぎやかな7日間でした。



## むさしYMCA

1月25日(日)10:00~15:00

水泳教室や体操教室と親子サッカー、成人フィットネスではスタジオ体験会、そして革工芸教室・のみの市と盛りだくさんの内容で開催。たくさんの笑顔を見ることができました。



## YMCA学院

今年もオリジナルデザインのチャリティタオルを販売。多くの人に買っていただきました。ひとりひとりの力は大きくなくても、それが集まったときに何らかの力になることを実感しました。

達成感を得られた学生委員会活動

事務系の勉強ができる学校を探していた時、YMCA学院のオープンキャンパスに来て、楽しみながら学べる場だと思い、入学を決意しました。一年目に推薦を受けてクラスから2人選ばれる学生委員になりました。人をまとめることが好きなこともあって、二年目には立候補。委員会では書記として、月1回の定例会などで皆の意見をまとめながら記録したほか、学校行事やボランティア活動の計画立案、報告にも積極的に携わってきました。

募金活動にも取り組んでおり、学生でデザインを考えたチャリティタオル販売は、国際協力青少年育成年末募金に貢献できてとてもうれしく、達成感も得られました。昨年度は街頭募金にも参加。そこで実感したのは、募金してくださる方の温かさです。2013年にフィリピンを襲った台風被害への募金を訴えているとき、たまたま通りかかったフィリピン出身の方から『ありがとう』という言葉をいただいたのが印象的でした。

YMCA学院生活では、海外研修でシンガポールの現地YMCAの学生と交流したり、リーダーとしてキャンプに参加したりと、様々な体験を重ねました。YMCAには、社会が必要とされることが凝縮されていて、無駄な学びは一つもなかったと思います。今年3月に卒業しますが、ここで学んだことは社会に出てからずっと役立つと信じています。

## YOUTH ACT

Vol.12 YMCAで活躍しているユース紹介

### ●YMCA学院学生委員会で活躍



横山結さん  
YMCA学院経営ビジネス科2年 / 学生委員会メンバー / ユースリーダー

## 西日本地区の職員が合同研修

■日程 / 1月30日(金)~2月2日(月)  
■場所 / 阿蘇YMCA



今年度も西日本地区YMCA職員研修を行いました。前半は「人間関係トレーニング」、キリスト教理解について共生庵代表の荒川純太郎さん、後半は「YMCAマネージメント」をテーマに前横浜YMCA総主事の山根誠之さん、最後に元熊本YMCA総主事の小山哲夫さんにそれぞれ指導をいただきました。

研修スタイルは、ワークショップ形式、事前課題の取組み発表など盛りだくさんの研修となりました。

本部事務局 久保誠治

## 御船町校区対抗駅伝大会に参加

■日時 / 2月15日(日)10時~12時  
■場所 / 御船町

第36回御船町校区対抗駅伝大会が行われました。御船町スポーツセンターからオープン枠に参加。御船高校前をスタート・ゴールとし、8区間17.6kmで競いました。

沿道から、たくさんの方の応援をいただきながらタスキをつなぎました。結果は、オープン参加の部で優勝。御船町の各地区の皆さんと共に走り、親交を深めることができました。

御船町スポーツセンター 辻健太郎



タラント No.12

総主事 岡 成也

YMCAの可能性 ～地の塩・世の光～

先日、熊本YMCAの全体職員研修会を御船町スポーツセンター及び御船町カルチャーセンターで開催し、『地域に求められるYMCAの働き』について考える機会を持ちました。昨年10月から運営を委託されている御船町スポーツセンターにおいては、指定管理制度に基づき、「公の施設」の運営を通して、公共課題に取り組んでいます。スポーツ施設として、地域住民の健康を増進するための働きはもちろぬ、YMCAの国際、平和、ボランティアなど多岐にわたる活動が地域の活性化へつながることへの期待感を、御船町町長の山本孝二さんによるご挨拶を通して、職員一同改めて感じることができました。

熊本市を中心に展開してきたYMCAの働きが大牟田市のリフレスおおむた、御船町スポーツセンター、益城町総合運動公園(2015年4月より)と、周辺地区へと広がりを見せています。これまで広い意味での『地域』に対して使命を掲げ活動してきましたが、「公」「私」をむすぶ触媒、仲介者として「共」の役割を担いながら、より具体的な限定された『地域』における課題に取り組む機会の中に、新たなチャレンジがあるように思います。YMCAの運動がコミュニティの中で「地の塩」として貢献し、新しい社会の生き方を示し、「世の光」として生きる希望を示すリーダーシップを発揮すること、そして、人々に伝え、つながり、心の平和もたらす運動に発展していくことが求められています。

2015年度基本聖句

「どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる」(マタイによる福音書18章19節)

御船町スポーツセンター「歌声広場わいわい」

歌声喫茶で青春を謳歌した皆さん、フォークソング世代の皆さん、テケテケとエレキバンドで町内を風びした皆さん、懐かしの歌を歌うことが大好きな皆さん、ぜひいらしてください。

日時:2015年3月13日(金)14:00~16:00
会場:御船町スポーツセンター
対象者:音楽の好きな方ならどなたでも(定員約50名)
会費:500円(お茶・ジュース・スナック付)

お問合せ/御船町スポーツセンター TEL 096-282-4111 FAX 096-282-4113
E-mail mifune@kumamoto-ymca.org

YMCA会員交流会
未来の森づくりデイキャンプ

植樹や野外調理を体験しながら交流の輪を広げましょう。

日時:2015年3月15日(日)
現地集合・解散の方 10:00集合
送迎バス(中央YMCA出発)利用の方 8:30集合
場所:阿蘇YMCA
対象:YMCA会員とご家族
参加費:大人1,500円、学生・子ども1,000円
(バス利用の場合、別途一人500円)

お問合せ/熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877
E-mail icr@kumamoto-ymca.org

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

ユースリーダーたち

むさし



2月7日(土)はむさしYMCAユースリーダーの卒業式でした。お互いに学び合い、大きく成長して巣立っていくリーダーたちを見送りました。4月から社会人になるリーダーたちはYMCAでの経験を活かして、活躍してくれると期待しています。

むさしYMCAはリーダーたちが立ち寄ってくれるのをいつでも待っています。そして新たな後輩リーダーたちが集う場所でありたいと願っています。ユースリーダーの活動に関心がある人は一度訪ねてみませんか?

むさしYMCA 大宅登貴子

リラックスコース

阿蘇



阿蘇YMCAでは、より快適にご宿泊いただけるように、「リラックスコース」を始めました。ポケットコイルスプリングが体圧を分散し、優しく体を支えてくれるホテルマットレスに、水鳥羽毛100%のふわふわ・やわらか羽毛布団を準備しました。快適な睡眠で、ゆっくりと疲れを癒されたい方におすすめです。

先日、ご利用いただいたお客様からは、「とても暖かく、心地よくすごせましたよ。今日も元気にいってきます!」と感想をいただきました。

阿蘇YMCA 山田真二

地域の皆さん

リフレス



先日、リフレスおおむた人気教室の1つである、<sup>かすり</sup> 拵を用いた「手提げ作り教室」(全5回)が終了しました。皆さんできあがった作品に大変満足されていた様子でした。「次回はボランティア(指導者)として関わりたい」と希望される参加者も。嬉しい限りです。

指定管理者として大牟田市より運営を委託され、地域の皆さんに支えられ今年3月で丸8年を迎えます。今後も地域に愛され、必要とされる施設づくりを目指し、様々な活動や取組みにチャレンジしていきます。

リフレスおおむた 秋寄光輝

Kumamoto YMCA Network

- 中央YMCA ☎096-353-6391
YMCA学院 ☎096-353-6393
YMCA学院高等学校 ☎096-353-6391
本部事務局・ICR ☎096-353-6397
みなみYMCA ☎096-378-9370
上通YMCA ☎096-352-2344
東部YMCA ☎096-382-6661
ながみねファミリーYMCA ☎096-385-0676
むさしYMCA ☎096-248-6334
水前寺幼稚園 ☎096-362-4141
阿蘇YMCA ☎0967-35-0124
尾ヶ石保育園 ☎0967-32-0213
永草保育園 ☎0967-32-0810
赤水保育園 ☎0967-35-0024
黒川保育園 ☎0967-34-0402
就労支援事業所ウエルビー ☎096-312-1333
リフレスおおむた ☎0944-58-7777
御船町スポーツセンター ☎096-282-4111



キャラクター・ディベロップメント推進中

♪ハンガーにジャンパーを上手くかけられない2歳児さんに「してあげようか?」と5歳児さんがお手伝い。その後「この丸とこの丸(ボタン)を合わせてパチッとするとボタンのとめかたを教えていました。」



♪重なっている椅子から自分の椅子をとろうと頑張っている1歳児さん。それを見ていた2歳児さんが「はい、どうぞ」と上の椅子をおろしてくれました。優しさがこんなに育っていることをうれしく思います。(尾ヶ石 橋本朋子)

【基本聖句】あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい(ペトロの手紙14章10節)

熊本YMCAの使命

- 共に生きる社会 ウェルネス活動
地球環境の保全 ボランティア活動
生涯学習の推進 平和な世界

ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

メールマガジン登録 www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

